

I

学部教育の理念と目標

- 学部教育の理念と目標
- 教育上のポリシー等

学部教育の理念と目標

商学部第二部主事 ● 杉 本 宏 幸

商学部第二部で学ぶにあたって、商学部第二部の教育とその特徴について知っていただきたく思います。学生の皆さんが、商学部第二部で学ぶことでどのような知識や能力を身につけ、卒業し、社会で活躍できるようになると期待されているのか確認しましょう。その上で、皆さん一人一人に学ぶ目標をもってもらえればと思います。

◎商学部第二部ではどのような教育を行おうとしているのか

商学の広範な内容について学ぶことを通して、特に九州・福岡の地域経済を動かすリーダーシップを備えた人材を養成することを目指します。

商学部第二部は昭和28（1953）年に設立されました。福岡大学の中では商学部の次にできた伝統ある学部です。それ以来、高校卒業後の学生や勤労学生の学びだけでなく、社会人学生へリカレント教育や生涯学習の場として学びを支えてきました。70年を超える歴史の中で、1万3000名以上に及ぶ卒業生が、特に地元九州・福岡の経済と社会を発展させる人材となっています。皆さんもこうした伝統を受け継ぎ、大学生活で大きく成長してください！

◎商学部第二部の教育にはどのような特徴があるのか

①学生のダイバーシティ（多様性）

商学部第二部は、多様な学生が学び合える場です。世代や職業の異なる学生が集い、学んでいます。互いに交流し学びあうことで、自分一人では気づけなかった新たな視点や知見を身につけることもできます。互いに声をかけ合いながら学ぶようにしてみてください。

②幅広い分野の科目が履修できる

商学の広範な分野にわたる多くの科目が設置され、各分野の理論と現実を多面的に学べるようになっていきます。これらの科目は、基礎を一步一步固めながら履修できるよう、基礎力の修得を重視して編成されています。

③昼間部の科目も履修できる

商学部第二部の夜間部の履修は、基本的には月曜日から金曜日で1日2科目という制約があります。これを緩和するため、卒業に必要な単位数のうち、40単位までを昼間部で履修できます。計画的に履修を進めてください。

④少人数で学修するゼミナール

ゼミナールが1年次より開講され、4年間にわたってゼミナールを履修することが可能です。通常の授業に加え、ゼミナールでの学びを通じてプレゼンテーションやコミュニケーションの力を身につけ、専門的能力とリーダーシップを兼ね備えた人材となってもらうことを意図しています。社会で活躍できるビジネスパーソンとなるためのスキルやマインドを磨きましょう。

⑤特定分野の学修を強化するプログラムの設置

商学部及び商学部第二部には、将来社会に貢献するための資格取得や技能習得を支援するため、「会計専門職プログラム」「クリエイティブ・マネジメント・プログラム」「高校商業・情報科教員育成プログラム」「マーケティングプログラム」の履修プログラムが設置されています。あなたの目的に合わせ、積極的に参加しましょう。

⑥学修支援

高等教育の修学支援新制度等だけでなく、独自の奨学金制度である商学部第二部奨学金制度、福岡大学内の各部署で働きながら学べるワークスタディ制度など、第二部ならではの学修支援で学生生活をバックアップしています。ぜひ利用してください。

商学部第二部は、原則として授業時間数が一日2コマと少ないので、4年間で卒業するにはそれなりの勉学上の努力と覚悟が必要です。上記の6つの特徴をよく確認し、しっかりとした目標や学修計画を立て、将来必要な知識や能力を身につけましょう。福岡大学が提供する様々なサービス（図書館、情報関連施設、キャリアセンターなど）も積極的に活用し、有意義な学生生活を送ってください。

教育上のポリシー等

学位（教育）プログラムとは

学位を授与するために編成された教育課程のことを指します。

ディプロマ・ポリシー（DP）「学位授与の方針」とは

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものをディプロマ・ポリシー（学位授与方針）といいます。

カリキュラム・ポリシー（CP）「教育課程編成・実施の方針」とは

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針をカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）といいます。

カリキュラム・マップとは

カリキュラム・マップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表であり、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかを示します。

カリキュラム・ツリーとは

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の対応関係や履修・学修における道筋を示したものをカリキュラム・ツリーといいます。

学位（教育）プログラムにおけるディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、カリキュラムツリーを次ページより掲載します。なおFUポータルにはカリキュラムマップも掲載しています。合わせて確認してください。

【掲載場所】

FUポータル ▶ 授業関連 ▶ 履修系統図（カリキュラムツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶ 履修系統図（令和8年度入学生） ▶ 商学科（商学（第二部））

〔商学部第二部〕

◎ディプロマ・ポリシー (DP)

商学部および商学部第二部の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の知識、能力および資質を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 商学に関する理論、知識および技能ならびに幅広い教養を身につけている。
2. 修得した理論、知識および技能を活用して企業や組織だけではなく地域や世界の問題発見および問題解決に当たることができる。
3. 他者と協働して企業、地域等の発展に貢献することができる。

【共通教育】

共通教育のDPに関しては別に定める。

共通教育に関するDPをもって学位（教育）プログラムDPを構成する。

◎カリキュラム・ポリシー (CP)

商学部および商学部第二部では、ディプロマ・ポリシーで掲げた知識、能力および資質を養うことができるように、講義科目および演習科目を体系的かつ段階的に編成します。

1年次には、各学科の基礎知識を学ぶために入門科目を設置します。また、大学における学び方を身につけるために少人数クラスの基礎ゼミナールを配置し、各人に適した指導を行います。さらに、実学である商学に必要な多種多様な知識、見識を修得するために、経済学、法学等の関連教育科目を1年次から配置します。

2年次以降は学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。併せて、修得した知識およびコミュニケーション能力を活用して主体的かつ協働して問題発見・解決に当たる力を高めるために少人数クラスによる専門演習科目を配置します。3年次および4年次には、この専門演習科目を中心として専門教育科目および関連教育科目の履修計画を立てます。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。

〔商学部第二部商学科〕

◎ディプロマ・ポリシー（DP）

【知識・理解】

- A-1 流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の基礎的な知識を身につけている。
- A-2 流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の高度な知識を身につけている。
- A-3 地域的または国際的な流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の知識を身につけている。

【技能】

- B-1 商学の知識および理論を用いて、企業および地域社会における課題を発見することができる。
- B-2 商学の知識および理論を用いて、企業および地域社会における課題の解決策を提案することができる。
- B-3 企業および地域における問題の解決やその発展に貢献するためにコミュニケーション能力を活用することができる。
- B-4 企業および地域社会における問題の解決やその発展に貢献するために協働することができる。

【態度・志向性】

- C-1 企業および地域社会の問題発見や課題解決に取り組む社会的責任感を持っている。
- C-2 他者と協働して企業、地域等の発展に貢献する姿勢を持っている。
- C-3 授業の範囲を超えて学ぶ姿勢を持っている。

【共通教育】

共通教育のDPに関しては別に定める。
共通教育に関するDPをもって学位（教育）プログラムDPを構成する。

◎カリキュラム・ポリシー（CP）

本プログラムでは、ディプロマ・ポリシーで掲げた「知識・理解」「技能」「態度・志向性」を修得できるように、講義および演習を体系的かつ段階的に編成します。

1年次には、商学に関する理論的・歴史的・実践的な知識を学ぶ基礎的専門教育科目として、「情報」「商業（流通・金融・保険・交通・歴史）」「経営」「会計」の領域の入門科目を配置します。また、少人数クラスで、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高める基礎ゼミナールを配置します。さらに、実学である商学に必要な多種多様な知識、見識を修得するために、法学、経済学等の関連教育科目を1年次から配置します。

2年次以降は、「情報」「商業（流通・金融・保険・交通・歴史）」「経営」「会計」「国際」の領域に関して、学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。併せて、企業および地域社会に貢献できるの能力と態度を養成するために、2年次から、少人数クラスによる商学、経営学および会計学に関する少人数クラスによる専門演習科目を配置します。この専門演習科目は、一般講義とは異なりディスカッションを中心に授業が進められることから、各受講者に応じたアドバイスを担当教員から受けることができ、より深く専門領域を学修することができます。また、この専門演習科目を中心に履修計画を組み立てることによって、より体系的な学修も可能となります。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。
共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。

◎学位（教育）プログラム【商学（第二部）】カリキュラムツリー（令和7年度以降入学生適用）

		1年次に修得すべき科目	2年次に修得すべき科目	3年次に修得すべき科目	4年次に修得すべき科目
ゼミナール		基礎ゼミナール	▲ビジネスデザインゼミナール ▲商学ゼミナールA ▲金融ゼミナールA ▲経営ゼミナールA ▲会計ゼミナールA ▲国際ゼミナールA	▲商学ゼミナールB ▲金融ゼミナールB ▲経営ゼミナールB ▲会計ゼミナールB ▲国際ゼミナールB	▲論文ゼミナール
	特別講義	特別講義A 特別講義B	特別講義C 特別講義D		
外書講読			海外交流ゼミナール		
			外書講読I A 外書講読I B	外書講読II A 外書講読II B	外書講読上級A 外書講読上級B
情報	情報表現技術 情報倫理	情報処理入門 情報処理基礎 情報社会論		マルチメディア概論 情報システム論	情報産業論
商学	流通・マーケティング	△流通・マーケティング入門	マーケティング戦略論 消費者行動論 マーケティングリサーチ サービスマーケティング 地域商業論		
	金融	△金融入門	金融論 証券市場論	金融システム論	
	保険		保険論	生活保障論 リスクマネジメント論	
	交通		交通経済論	海運と航空	
	商業史		近代日本商業史 近代西洋商業史	商業史概論	
経営	△経営入門	経営学総論 経営管理論 中小企業論 ヒューマンリソースマネジメント 経営史	生産管理論 経営財務論 経営心理学 経営組織論	経営戦略論 オペレーションズリサーチ 国際経営論	
会計	△簿記原理 原価計算論	会社簿記 会計学総論	監査論 国際会計論 経営分析論 税と生活 財務会計論	会計学特論 会計情報システム論 管理会計論	
国際		国際貿易論 グローバル経済事情	国際物流論 国際マーケティング論	貿易実務	
関連教育科目			概説哲学		
		民法A 民法B	マクロ経済学 ミクロ経済学	商事法 経済法	労働法 財政学

※商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目は、別表で示す

(注) △は選択必修科目1群

(注) ▲は選択必修科目2群

(注) 共通教育科目については、共通教育科目部分のみを対象とした別のカリキュラムツリーで詳細を示す

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ・カリキュラムツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラムツリーおよびカリキュラム・マップ）

▶履修系統図（令和8年度入学生）▶共通教育